

広報

みなみいず

2016

4

No.550

温かい春、
みーつけた。

—南崎認定こども園 園外保育—





平成28年南伊豆町議会 3 月定例会が 2 月24日から 3 月17日まで開催され、「人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて」などが原案どおり可決されました。

行政報告（要旨）

（仮称）健康福祉センター等 建設整備

（仮称）南伊豆町健康福祉センター等については、昨年12月3日に総合評価落札方式一般競争入札公告を実施し、12月28日に総合評価落札方式一般競争入札を行った結果、以下のとおり設計事業者を決定いたしました。

名称 株式会社 松田平田設計
横浜事務所

所在地 神奈川県横浜市神奈川区
鶴屋町二丁目26番2号

現在、基本設計及び実施設計を進めておりますが、隣接整備する特別養護老人ホームとの連携を図ることで、「介護サービスの供給」、「町民の安全安心を守るための健康と福祉の充実」、「地域包括ケアシステムの構築」における拠点施設として整備してまいります。

ふるさと寄附金

本町における「ふるさと寄附制度」については、平成20年度から取り組んでおり、平成26年度末までの基金積立額は4,000万円ほどとなっております。

平成27年度では、昨年12月末までの寄附金総額は3億4,104万8,102円となり、「ふるさと納税ワンストップ特例制度」による税制改正に加え、10月からの「ふるさと寄附金

ポータルサイト」への参入のほか、クレジットカード決済の導入が大きく影響しているものと考えられます。寄附金の約7割が10月から12月の3か月間に申込みされたものであり、年度末には3億5,000万円を超える見込みです。

地熱資源の活用

地熱資源の活用については昨年度に引き続き、地熱開発理解促進関連事業と、地熱資源開発調査事業を並行して進めております。

平成26年度地表面調査のデータ再解析の結果が見えてきたところですが、加納地区から南野山を通り下賀茂地内にかけて地熱上昇の可能性のある断層が再確認され、南野川流域においても何層かの地層も確認されたことから、平成28年度において当該地点での調査井の掘削を目指してまいります。

ジャングルパーク跡地利用

石廊崎ジャングルパーク跡地の利活用については、昨年12月22日付けをもって石廊崎区の住民合意に基づく要望書が提出され、「同跡地敷地内の維持管理・施設運営を石廊崎区が担いたい。」とした趣旨のものであります。町では、継続的かつ安定的な施設の運営と、地元石廊崎区にご賛同いただける事業者選定等に苦慮しておりましたので、同区のご

判断に後押しをいただいた形となりました。

平成28年度には設計事業者を決定し、園地内整備にかかる設計業務を進めてまいります。周辺の景観整備等のほか進入路整備など、前倒しが可能なものから事業着手に努めてまいります。

健康創造型生涯活躍のまち （日本版CCRC）基本計画の策定

地方創生広域連携上乗せ交付金による自治体間連携に基づくCCRC基本計画につきましては、基本コンセプトを「健康創造型生涯活躍のまち」として基本計画の策定作業を進めております。

この計画は、日本版CCRCへの取り組みを進めるうえで重要な要素となる「健康づくり」に町を挙げて取り組み、町民全体の健康を増進することにより南伊豆町が健康な地域として認知され、さらに地域の魅力を高めるとした大きな目標を掲げたもので、共立湊病院跡地及び周辺地域に、自立型サービス付き高齢者向け住宅を中心とした多世代共生型施設を整備し、健康づくりプログラム等も並行して行い、当該施設居住者と地域住民の垣根のないコミュニティづくりを目指すものです。

賀茂地域広域連携会議

平成27年4月に発足した賀茂地域広域連携会議については定期的な首

長会議の開催のもと、テーマごと8つの専門部会も随時設立されております。

このうちの「消費生活センターの共同設置」及び「税の徴収事務の共同処理」については、本年4月から下田総合庁舎においてスタートし、残るテーマについても、早期開設に向けて引き続き協議を進めてまいります。

南伊豆町津波対策検討会地区協議会

静岡県では、第4次被害想定に基づくレベル1の津波想定高をもとに、県下21市町において津波対策検討会地区協議会を設置し、津波による人的被害の8割軽減を目途とした「静岡モデル」を推進しており、本町では本年1月18日の竹麻地区をかわきりに、南崎・三浜・三坂の順に地区協議会を開催いたしました。

加えて、町ではレベル2の津波想定高に基づく津波避難計画を策定中であり、「静岡モデル」との整合性を図りながら、住民の安全確保と津波被害の更なる軽減に向け事業推進してまいります。

町立南上小学校学校統合に関する答申書

南上小学校の統合に関する審議等については、平成18年2月27日提出の学校統合審議会からの答申書から「平成26年度以降も複式学級が解消されない見込みであることが判明したときは、改めて学校統合審議会を設置することが適当である。」との審議結果に基づき検討を進めてまいりました。

本年2月19日付けをもって教育委員長あてに「南伊豆町立南上小学校学校統合に関する答申書」の提出があり、同月22日に委員長から答申に関する報告を受けました。

審議会の結論といたしましては、「複式学級が2学級発生する見込みのときは、統合に向け速やかに再度統合審議会を開催し、統合年度を明らかにする。」とされております。

産業振興等

(1) 空き店舗対策（補助事業）の実績等

本町唯一の商店街「下賀茂商店街」については、大型店舗やチェーン店の進出に加えて、経営者の高齢化や後継者不足等による店舗数の減少が進み、今後もさらなる空洞化が予測されております。

このため、地域の暮らしを支える商店街の活性化と地域の活力維持を目的とした補助金制度を創設し、空き店舗等を利用する新規開業者への創業支援として、店舗にかかる改装費及び家賃等の補助を行う「下賀茂商店街空き店舗対策事業」を実施しております。

事業内容としては、同対策委員会が現所有者等に意向確認したのち、貸借の同意を得た店舗物件に横断幕を掲げ、商工会や不動産会社のホームページへの掲載などPRに努めております。

なお、当該物件に対する問い合わせは10数件にのぼり、うち4件は具体的な調整が進められているところであります。

今後も、当該事業窓口である商工会と連携を図りながら地域活性化に向けた事業推進に努めてまいります。

(2) 各種イベント等

ア 町営温泉銀の湯会館の完成

町営温泉銀の湯会館については、昨年6月12日から改修工事に着手し本年1月27日に完成いたしました。

今回の大規模改修により、露天風呂の充実、脱衣所やサウナの拡張、食事処の整備に伴う施設入口の変更等が行なわれ、日帰り温泉施設としてこれまで以上に魅力ある機能の充

実を図ることができました。

イ 第18回みなみの桜と菜の花まつり

みなみの桜と菜の花まつりについては、今回で18回目を数えます。開幕日の10日には菜の花畑ステージにおいて神事が執り行われ、関係者による安全祈願を行いました。

また、14日の菜の花結婚式には手石在住の下宮様御夫妻が選ばれ、下田高校吹奏楽部の奏でるメロディーが流れるなかで、黄色い絨毯を敷き詰めたような菜の花畑をバックに、同席された御親族をはじめ、観光客等からも多くの祝福を受けておられました。

ウ 第3回南伊豆・下賀茂温泉夜桜マラソン

2月20日、町営温泉銀の湯会館をスタート・ゴールに、第3回南伊豆・下賀茂温泉夜桜マラソンが開催されました。当日は、5km、10km、20kmの各部門に全国からエントリーのあった480人の選手が青野川特設コースを駆け抜けました。

(3) 観光客等入込み状況について

平成27年4月から12月までの観光客等の入込み状況がまとまりましたので、報告いたします。

分野別に見ると、宿泊施設では160,596人で前年度比101.3%、観光施設では102,493人で前年度比101.9%、町営温泉施設では41,294人で前年度比49.6%となりました。

町営温泉施設の利用者減につきましては、昨年6月からの銀の湯会館休館によるものですが、3月からのリニューアルオープンを契機として、これまで以上の入館者数が期待できるものと考えております。

観光施設等の入込状況（4月～12月）

区 分	平成27年度(人)	平成26年度(人)	前年度比(%)
宿泊施設	160,596	158,396	101.39
観光施設	102,493	100,526	101.96
温泉施設	41,294	83,219	49.62
合 計	304,383	342,141	88.96



本年1月1日発表の内閣総理大臣年頭所感及び同4日の総理大臣年頭記者会見では、「一億総活躍・元年」の幕開けとし、ロケットスタートを切るとされております。

本町においても、自治体を取り巻く環境を的確に捉え、開かれた町政の推進と町民の負託に応える職員の資質向上及び行政組織の体制整備に向け邁進してまいります。

具体的な施策について申し上げます。

石廊崎ジャングルパーク 跡地等の観光問題

石廊崎ジャングルパーク跡地の利用計画については、同跡地利用計画審議会から提出のありました答申の趣旨に基づき、「誰もが行きたくなる石廊崎」を念頭に石廊崎区との協議を進めたいと、平成28年度中には施設内整備にかかる実施設計を完了するほか、前倒しで事業化が可能な環境整備等も精力的に実施するとともに、平成29年度からの本格的な園内整備事業の着手に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

当該事業の実施に伴い発生する文化財保護法及び自然公園法による法的規制に対しても適切に対処することが必須となりますが、万人が認める伊豆半島最南端の壮大な景観美をもって、かつての賑わいの復活が切望されるなか、内外の方々から寄せられる期待は極めて大きく、何よりも名勝石廊崎を基点とした観光再生は、半島振興の礎であることは自明の理であります。

3 月定例町議会

平成28年度 施政方針（要旨）

東京都杉並区との自治体間連携による特別養護老人ホームの建設

杉並区及び南伊豆町との自治体間連携による特別養護老人ホームの整備については、南伊豆町高齢者保健福祉計画第6期介護保険事業計画に基づくなかで施設運営事業者による設計が進められ、平成29年度の供用開始に向けて事業展開しております。

また、施設運営に不可欠な介護人材の確保・育成、医療体制の整備等についても、開所までの行程表に従いながら着々と進捗しているところでありますので、今後も静岡県等の御指導を仰ぎながら平成29年度の開設を目指してまいります。

健康福祉センターの建設整備

（仮称）南伊豆町健康福祉センターの整備については、自治体間連携による特別養護老人ホームの整備とともに開所を目指すもので、「町民の健康増進と福祉サービスの向上に資するための施設」として事業推進しております。

平成27年度において同健康福祉センター設計業者が決定いたしましたので、基本設計及び実施設計が完了し、建設工事を発注し、平成29年度末の完成を目指してまいります。

施設運営面においては、隣接する特別養護老人ホーム運営法人との連携を図りながら、本町保健福祉行政の拠点に相応しい環境整備、施設機能の充実に努めてまいります。

自然再生可能エネルギー （地熱資源等の活用）

平成22年「緑の分権改革」からはじまる新エネルギー活用の取り組み

は、平成26年度の経済産業省による地熱開発理解促進関連事業及び独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（通称JOGMEC）による地熱資源開発調査事業へと引き継がれ、平成27年度においても経済産業省及びJOGMECによる全額補助事業として継続し、南野山深部に熱源の存在が示唆されたところであります。

加えて、環境省が公募する「低炭素・循環・自然共生」地域創生実現プラン策定事業には、本町提案の「温泉熱等活用による低炭素のまち・南伊豆」が全国17自治体のひとつとして採択されました。

本年度においては、この低炭素・循環・自然共生に資する取り組みを通じて、地域活性化を実現するモデル事業を進めるほか、これまでの地熱資源開発調査報告に基づく調査井の試掘を実施するなど、風力・太陽光・バイオマス発電等のエネルギーミックスによる新たな産業、雇用の創出を目指してまいります。

日本版CCRC※、生涯活躍のまち～ワープステイ（夢を語り合うことのできるまち）～お試し移住

本町では、移住・定住者増加策として移住セミナーや空き家バンク等に加え、地方創生交付金による空き家バンクリフォーム補助金、空き家バンク発掘事業、空き家借上げによるお試し移住推進事業等を展開してまいりました。

加えて、都市部の元気な高齢者「アクティブシニア層」をターゲットとした移住促進施策としてワープステイ構想を掲げ、構想実現に向けた事業化を推進しております。

このようななかで「アクティブシニアのヘルスアップステイ及び広域

連携による日本版ＣＣＲＣ事業」及び「温泉・地熱資源の活用を中心とした南伊豆健康ブランドの創出事業」が地方創生広域連携上乘せ交付金として採択を受けたことから、より具体的な自治体間連携型ＣＣＲＣ事業基本計画の策定を進めております。

光ケーブルの敷設整備

情報・通信回線の高度化については、住民ニーズのほか定住・移住及び企業誘致施策においても極めて重要な社会インフラであり、全国レベルで情報・通信設備が高度化されるなか、光ケーブルでは100メガビット毎秒速の確保が通常レベルとされており、本町においても情報・通信環境の整備が急務となっております。

また、町内全域を対象とした光ケーブル整備には、事業費で5億円から10億円とも想定されており、加えて、ケーブル敷設後も年間1,000万円を超える経費を要するほか、10年後の設備更新を見据えた場合、3,000万円から4,000万円の資金積立てが必須となります。このため本町では、企業独自による事業展開を奨励するとともに、補助金の活用、初期投資への助成制度など検討を進めてまいりました。

このような状況のなか、通信事業者複数社から町内世帯の75％を占める62局を対象とした単独整備等の提案が示されたことから、同事業提案等の精査を早急に進めるとともに安定かつ長期的に事業継続が可能な通信事業者を選定し、光ケーブルによる新たなまちづくりの創造に取り組んでまいります。

観光の振興

本町最大の観光イベント「みなみの桜と菜の花まつり」では、期間中の「菜の花結婚式」や「夜桜・流れ星」、「南伊豆・下賀茂温泉夜桜マラソン」等が開催され、早春の訪れを告げる南伊豆の風物詩として定着してまいりました。また、弓ヶ浜海水

浴場での「弓ヶ浜スプラッシュウォーターパーク」は、全国レベルによる情報発信が成され近年にない活況を呈しております。

さらに、外国人観光客に向けては、誘客に特化した環境整備が急務とされることなどから、観光協会及び観光事業者等との連携強化を図り、さらなるインバウンド事業の充実に努めてまいります。

また、3月1日にリニューアルオープンする「町営温泉銀の湯会館」の利用者拡大を図りつつ、「道の駅下賀茂温泉湯の花」を核とした新たな賑わいの創造など、さらなる観光振興に鋭意取り組んでまいります。

津波防災地域づくりの推進

静岡県では、第4次地震被害想定に基づく「地震・津波対策アクションプログラム2013」により、想定される犠牲者を今後10年間で8割減少させる減災施策として、津波対策に特化した「静岡モデル」を発表いたしました。これにより、当該市町に「津波対策検討会地区協議会」を設置し、住民合意に基づく津波対策を決定することになり、本町では、昨年11月に竹麻、南崎、三坂、三浜の4地区で協議会が設立されました。

また、町単独による津波避難対策事業においては、レベル2の津波高を想定した迅速な住民避難を基本とする詳細な津波避難地図のほか、避難に必要な施設整備等を含む実施計画の策定に向けて地区住民との検討会を随時開催してまいります。

避難所整備については、三坂幼稚園及び差田保育所跡地を活用した三坂地区防災拠点施設建設事業に着手いたしました。同敷地内には、床面積約350㎡の避難所本体施設のほか、200㎡の防災資機材倉庫を併設し、平成29年3月の完成を目指してまいります。

その他

全国の小規模自治体では、行財政

改革並びに定員管理等からも行政組織の再編・集約化が求められ、行政効率の更なる向上に向けて、適正な組織規模・人事配置などで身の丈に合った体制整備が急務となっていることから、以下のとおり機構改革を実施いたします。

(1) 企画調整課を企画課に改め、同課内に地方創生室を設け、杉並区との自治体間連携の強化・推進、ＣＣＲＣ事業など地方創生に特化した事務体制の整備充実に努めます。

合わせて、企画係、情報政策係を置き1課1室2係体制といたします。

(2) 健康福祉課に子育て支援係を新設し、こども園に関する全ての所掌事務及び子ども・子育て支援事業計画の推進を図るほか、児童・母子福祉事務を所管し、子育て全般にわたる総合的窓口として利用者の利便性向上を図ります。

(3) 産業観光課を商工観光課に改め、基幹産業である観光政策に特化した観光推進係のほか、「ふるさと寄附」を所管し、返礼品等の拡大強化・開発等による商工業の振興、活性化を推進する商工振興係の2係を配置いたします。

(4) 建設課を地域整備課に改め、公共管理係及び建設整備係に農林水産振興係を加えた3係体制とし、建築基準法、占用等の許認可に、自然公園法、農地法許認可事務を加えた総合窓口体制として利用者の利便性向上を見込むほか、広域連携による地籍調査事務を所管いたします。

この組織再編により7課2局2室25係体制とし、町政推進と町民の負託に応えるため、時代に即した住民ニーズを的確に捉え、今後も行政組織の体制整備を進めてまいります。

※町の組織構成については、
8ページでご案内しています。

※高齢者地域共同体(コミュニティ)のことで、健常時にある地域に移り住み、その地域で健康でアクティブな生活を送ること。

平成28年度 当初予算

「自らが創り、守る南伊豆の未来」の実現に向けて

平成28年度南伊豆町当初予算が3月定例議会で可決されました。予算編成にあたりましては、第5次南伊豆町総合計画の基本理念及び将来像を具現化すべく、

- 1 安心・元気・温かさがあふれるまちづくり
- 2 優美な自然を生かした観光と交流のまちづくり
- 3 地域・自然の恩恵を生かしたまちづくり
- 4 地域を担うひとづくりと町の歴史・文化を継承するまちづくり
- 5 人、町、自然が共生する快適でぬくもりのあるまちづくり

とする5つの基本目標のほか、「自らが創り、守る南伊豆の未来」とした共通目標を含め、6項目の重点目標を掲げて予算編成に臨みました。

特に、石廊崎の再生、健康福祉センターの建設、地熱資源開発事業及びまち・ひと・しごと創生法に基づく総合戦略実現事業等を最重点項目として取り組むほか、平成28年度からの南伊豆町過疎地域自立促進計画、南伊豆町公共施設等総合管理計画等を踏まえたなかで、住民ニーズを的確に捉え、事業効果と優先順位に配慮し適切な予算配分に努めたところであります。

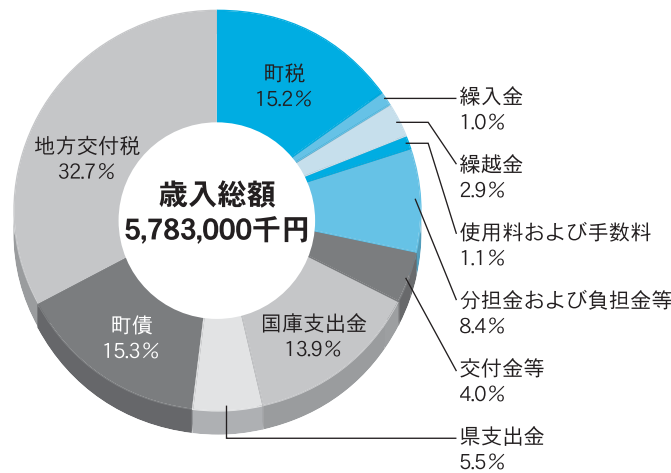
一般会計 歳入 57億8,300万円

自主財源 28.6%

地方公共団体が自主的に収入できる財源

依存財源 71.4%

国や県に頼り、定められた額を交付される財源



町税 8億7,891万2千円

町民の皆さまに納めていただく税金。町民税、固定資産税など

使用料、手数料 6,258万9千円

保育料、町の施設の使用料、証明手数料など

国庫支出金 8億278万2千円

町が行う特定の事業に対して国から交付されるお金

繰入金 5,780万7千円

各種基金(貯金)から繰り入れたお金

負担金、分担金等 4億8,287万8千円

特定のサービスを受けた方から負担していただいたお金

県支出金 3億1,533万2千円

町が行う特定の事業に対して県から交付されるお金

繰越金 1億7,000万円

平成27年度剰余金の繰り越し

交付金等 2億3,350万円

国から一定の割合で配分、譲与されたお金

町債 8億8,620万円

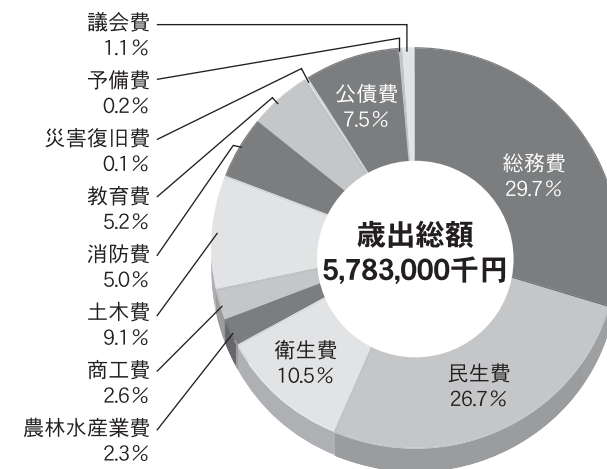
町の借金。大規模な事業を行うため国などから借りるお金

地方交付税 18億9,300万円

町が標準的な仕事をする際に不足する財源を補てんするため国から交付されるお金



一般会計 歳出 57億8,300万円



議会費 6,315万6千円

議員報酬や議会の運営経費など

農林水産業費 1億3,203万3千円

農業・林業の振興、緑化推進事業の経費など

総務費 17億1,948万4千円

行政全般の事務に関する経費、企画調整、財産管理経費など

商工費 1億5,063万7千円

商工業や観光業の振興に関する経費など

民生費 15億4,680万5千円

高齢者、心身障害、母子などの福祉事業や子育て支援の経費など

土木費 5億2,838万3千円

道路・河川などの改良事業や維持管理、都市計画や街路整備、下水道事業特別会計への繰り出しなど

衛生費 6億905万円

住民検診などの健康管理、ごみ焼却の運営管理経費など

消防費 2億8,338万5千円

消防組合および消防団の経費や防災対策経費など

教育費 2億9,866万3千円

小中学校や認定こども園の管理運営費、生涯学習などの費用、図書館の運営費など

災害復旧費 607万円

災害による復旧費用

公債費 4億3,533万4千円

事業を行うために借りたお金(町債)の元金・利子の償還費用など

予備費 1,000万円

予算編成の際、予期しなかった支出に対応するための費用

特別会計予算 34億7,590万2千円

国民健康保険特別会計	17億9,348万1千円
介護保険特別会計	11億337万7千円
後期高齢者医療特別会計	1億1,095万7千円
南上財産区特別会計	56万8千円
南崎財産区特別会計	43万6千円
三坂財産区特別会計	777万5千円
土地取得特別会計	60万1千円
公共下水道事業特別会計	4億611万6千円
子浦漁業集落排水事業特別会計	2,474万4千円
中木漁業集落排水事業特別会計	863万2千円
妻良漁業集落排水事業特別会計	1,922万1千円

企業会計予算 5億1,593万7千円

水道事業会計	5億1,593万7千円
--------	-------------

用語の解説

一般会計

町税および国や県からの補助金などを主な財源とする、行政運営の基本となる会計で、町が行う事業の大部分を占めます。

特別会計

特定の事業を行うための会計で、主として保険料や使用料などの収入で賄います。

企業会計

公共の利益を目的にして経営する事業で、独立採算型の会計です。

役場の組織が変わりました

今日の経済情勢が目まぐるしく変化する中、新たに生じた行政課題に的確に対応し、かつ行政運営の効率化を推進するため、組織の見直しを行いました。

■「企画課」の設置

「企画調整課」を「企画課」に改め、同課内に新たに「地方創生室」を設け、自治体間連携の強化・推進を図ります。

■「健康福祉課」に「子育て支援係」を新設

認定こども園に関する全ての所管事務、子育て全般にわたる総合的窓口として、「子育て支援係」を新設します。

総務課	総務係	町長秘書、行政、選挙、人事、条例、行政協力員、情報公開、行財政改革
	財政係	予算・決算、公会計改革
	防災係	防災、消防、交通安全、自衛隊、暴力追放、防犯
	管財係	入札・契約、指名参加申請、建設工事検査、庁舎管理、財産管理

☎ 62-6211 ✉ soumu@town.minamiizu.shizuoka.jp

企画課	企画係	地熱、石廊崎再開発、半島振興、新エネルギー、コミュニティ、バス対策、国土・土地利用、広域連携
	情報政策係	タウンプロモーション、広報・公聴、統計調査、消費者行政、基幹情報電算業務、光通信

☎ 62-6288 ✉ kikakuc@town.minamiizu.shizuoka.jp

企画課 地方創生室	地方創生係	地方創生、CCRC、総合計画、過疎・辺地、移住定住、地域おこし事業
--------------	-------	-----------------------------------

☎ 62-1121 ✉ sousei@town.minamiizu.shizuoka.jp

町民課	税務係	住民税、法人町民税、軽自動車税、国保税、入湯税、固定資産税等の課税徴収・督促
	住民年金係	戸籍、住民票、印鑑証明、火葬許可、人権相談、国民年金、旅券事務

☎ 62-6222 ✉ cyoumin@town.minamiizu.shizuoka.jp

健康福祉課	健康増進係	予防接種、健康増進事業（各種がん検診、健康教育、健康相談）、保健協力委員、母子・歯科・精神保健、患者輸送バス
	国民健康保険係	国民健康保険（給付）、後期高齢者医療、特定健診
	子育て支援係	認定こども園事務（入所・料金・施設管理、職員管理）、母子・こども医療、児童手当
	福祉介護保険係	介護保険、健康福祉センター（建設）、民生児童委員、老人・障害福祉、生活保護、災害救助、日赤・共同募金、臨時福祉給付金
	地域包括支援センター	介護予防事業、介護予防給付、高齢者総合相談、権利擁護事業

☎ 62-6233 ✉ kenfuku@town.minamiizu.shizuoka.jp

■「商工観光課」の設置

「産業観光課」を「商工観光課」に改め、「観光推進係」、「商工振興係」の2係体制とします。

■「地域整備課」の設置

「建設課」を「地域整備課」に改め、「公共管理係」、「建設整備係」および「農林水産振興係」の3係体制とします。

商工観光課	観光推進係	観光、町営温泉施設管理、観光施設整備事業、ジオパーク、緑化
	商工振興係	商工、ふるさと寄附、企業誘致（町有地利活用）、内陸フロンティア

☎ 62-6300 ✉ syoukou@town.minamiizu.shizuoka.jp

地域整備課	公共管理係	公共土木施設管理、占用、境界立会、都市計画、建築確認、自然公園法、町営住宅
	建設整備係	公共土木、港湾・漁港・農林施設設計施工管理、災害復旧事業、急傾斜
	農林水産振興係	農林水産振興、松くい虫、鳥獣保護、有害鳥獣対策、治山、農業委員会、水田転作、地籍調査

☎ 62-6277 ✉ tseibi@town.minamiizu.shizuoka.jp

生活環境課	水道係	企業会計、上水道・簡易水道施設の維持管理、水道工事の設計・施工管理、水質検査
	下水道係	下水道工事、クリーンセンター等施設の維持管理、漁業集落排水施設管理
	生活環境係	環境、公害、犬の登録、浄化槽、処理業許可、ごみの資源化・減量化対策、可燃・分別ごみ収集

☎ 62-6270 ✉ seikatsuk@town.minamiizu.shizuoka.jp

※検針、水道料金および下水道料金の徴収を㈱フーチャーイン静岡支店に委託しています。

※上下水道施設の管理業務、清掃センター運転管理業務および一般廃棄物ごみ処理手数料の徴収業務を㈱ウォーターエージェンシー南伊豆管理所に委託しています。

教育委員会	社会教育係	社会教育、社会体育、生涯学習、文化財、芸術文化、青少年健全育成、男女共同参画、図書館関係
	学校教育係	学校教育、学校施設整備、学校給食、学校会計庶務

☎ 62-0604 ✉ kyoin@town.minamiizu.shizuoka.jp

会計室	会計係	町公金の収納・支払い、県収入証紙の売捌
-----	-----	---------------------

☎ 62-6220 ✉ kaikei@town.minamiizu.shizuoka.jp

議会事務局	議会、監査事務
-------	---------

☎ 62-6240 ✉ gikaij@town.minamiizu.shizuoka.jp

梅本町長のミニ集会

〔2月 南伊豆認定こども園保護者会〕

町長が、町民の皆さまのところに出向いて、まちづくりに資するための提言・提案等をお伺いする「ミニ集会」を開催しています。皆さまからいただいたご提言・提案等の一部をご紹介します。

意見 ■ふるさと公園の遊具が少ない。もう少し充実できないか。

回答 ■設置について県土木事務所と協議し、補正予算で対応する。

意見 ■健康福祉センター内に、子どもが遊べるスペースが画設けられれば、雨の日でも十分に遊ぶことができる。

回答 ■健康福祉センターに隣接予定の特別養護老人ホームの入所者交流スペースにできないか、梓友会に相談してみる。

意見 ■南伊豆認定こども園の園庭を休日開放できないか。

回答 ■平成28年度から園庭開放をするよう現在準備を進めている。

意見 ■前原橋を渡った左手の桜の木が茂ると、対向車の視認が困難であるため、カーブミラーの設置ができないか。

回答 ■現場確認、検証を行い対応する。

受付中 梅本町長のいつでもどこでもミニ集会

対象者 原則として町内にお住まいで、2名以上のグループ

申込方法 開催する2週間前までに総務課まで申し込みを行ってください。

開催場所 どこへでも出向きます。(自宅や公民館など)

注意事項

- ①皆さまの希望日時に合わせて日程調整をしますが、職務等の都合上、ご希望に添えない場合もあります。
- ②まちづくりに資するための提言・提案等を受けるものであるため、要望はご遠慮願います。
- ③内容によっては、その場で回答できない場合もあります。
- ④申込内容によっては、ミニ集会をお断りする場合もあります。

問合せ 企画課 情報政策係 ☎62-6288

4月1日
(金)から

賀茂広域消費生活センターオープン！

下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町および静岡県が共同で運営する、「賀茂広域消費生活センター」では、専門の消費生活相談員が、電話や面談で、悪質商法による被害や製品事故の苦情などの消費生活に関する相談に応じます。

相談内容により、問題解決のための助言や各種情報提供などを行います。

- ◆相談は無料です。
- ◆相談の秘密は守られます。
- ◆相談員が親身になって相談を受けます。

賀茂広域消費生活センター (下田市中 531-1 下田総合庁舎 6階)

消費生活 相談	☎24-2299 9:00~12:00、13:00~15:00 ※土日、祝日を除く
県民相談	☎24-2199 9:00~12:00、13:00~15:00 ※土日、祝日を除く 【無料弁護士相談】※要予約(祝日の場合日程変更あり) 毎月第3月曜日・偶数月第1月曜日に弁護士による相談を受け付けます。

ご利用ください

まちづくり出前講座

皆さまのご要望に応じて職員が出向き、町の事業や制度についてお話しします。町政への理解や関心を深めていただき、これからのまちづくりについて一緒に考えます。興味のあるテーマを選び、申込みをしてください。



■ 申込みできるのは？

小学生以上で、町内に住んでいる人や、町内に勤務・通学する方を含むおおむね10人以上の団体が対象です。

■ 利用できる日時は？

原則として、平日の午前9時から午後9時までの間で、1講座2時間までです。

* 年末年始（12月29日～1月3日）を除く。

■ 開催場所は？

町内の公共施設、地区集会所などを申込団体でご用意ください。

■ 利用料は？

講師の派遣は無料です。会場使用料は申込団体の負担となります。

出前講座メニュー

テーマ	内 容
今度はあなたがカモになるかも －悪質商法の対応講座－	悪質商法対策、クーリングオフ制度の活用
「光と水と緑に輝く南伊豆町」 －第5次南伊豆町総合計画－	町の未来に向かっての、まちづくり計画
ゴミを減らしましょう	ゴミの減量方法や収集・処理
みんなで支える介護保険制度 －介護保険講座－	介護保険制度の概要、申請、サービス利用
「銀の湯に入ろう」 －温泉入浴講座－	銀の湯会館の施設説明、温泉の入り方
暮らしの中の税	各種町税の課税の仕組み、納税
国民健康保険の豆知識	国民健康保険制度
住民係の窓口業務	住民係（戸籍等）窓口業務
役場って何してるの？	役場の機構や仕組み、町民の生活との関わり、職員給与
行政改革って何？	今なぜ行政改革か？ 協働社会の実現に向けた施策
役場は個人情報の塊だ！	個人情報保護条例、開かれたまちづくり、情報化への対応、プライバシー保護
南伊豆町の観光について	観光スポット、各種イベント等の概要を紹介（ジオパーク等）

■ 講座までの流れ

- ① 出前講座メニューから受講したい講座をお選びください。
- ② 会場を確保してください。
- ③ 希望する日の3か月前から2週間前までに、企画課へ申込書を提出してください。
- ④ 日程・内容などを調整し、町から出前講座可否決定通知を送付します。
- ⑤ 出前講座を実施します。

* 申込書は企画課窓口で配布または町のホームページからダウンロードできます。

* 出前講座メニューにないテーマについて受講したい場合は、ご相談ください。

■ 実施できない場合

政治、宗教、営利を目的とする集会などの場合は実施できません。

テーマ	内 容
あなたの一票を生かすために	選挙の歴史や仕組みをわかりやすく解説 投票率の向上を目指しています
町の台所事情	最近の国県の動向を踏まえた町の財政状況、将来展望
町は資産家だ？	町が所有する財産
まず自らを守る	東海大地震、風水害対策、消防団や自主防災、災害に強い協働社会の実現
教えて行政！（情報公開）	情報公開の手引き、情報公開制度の状況
将来の環境を考えた下水道講座	下水道の概要、接続工事、接続費用
認知症サポーター養成講座	認知症についての基礎知識、認知症の方や家族を支える手だて
安全安心なまちづくりを目指して 高齢化の状況と介護・福祉政策	町の少子高齢化の現状、課題、行政の取り組み
公共工事の入札・契約のしくみ ～適正な工事発注～	公共事業の発注。模擬入札を行い、入札の様子や契約、事業完成までを体験
TOUKAI（東海・倒壊）-0 事業について	TOUKAI-0事業の必要性、制度
鳥獣害どう防ぐ？	有害鳥獣についての知識や防除技術、町で取組んでいる対策

問合せ 企画課 企画係 ☎ 6 2 - 6 2 8 8

ご利用ください まちづくり出前講座

皆さまのご要望に応じて職員が出向き、町の事業や制度についてお話しします。町政への理解や関心を深めていただき、これからのまちづくりについて一緒に考えます。興味のあるテーマを選び、申込みをしてください。



■ 申込みできるのは？

小学生以上で、町内に住んでいる人や、町内に勤務・通学する方を含むおおむね10人以上の団体が対象です。

■ 利用できる日時は？

原則として、平日の午前9時から午後9時までの間で、1講座2時間までです。

* 年末年始（12月29日～1月3日）を除く。

■ 開催場所は？

町内の公共施設、地区集会所などを申込団体でご用意ください。

■ 利用料は？

講師の派遣は無料です。会場使用料は申込団体の負担となります。

■ 講座までの流れ

- ① 出前講座メニューから受講したい講座をお選びください。
- ② 会場を確保してください。
- ③ 希望する日の3か月前から2週間前までに、企画課へ申込書を提出してください。
- ④ 日程・内容などを調整し、町から出前講座可否決定通知を送付します。
- ⑤ 出前講座を実施します。

* 申込書は企画課窓口で配布または町のホームページからダウンロードできます。

* 出前講座メニューにないテーマについて受講したい場合は、ご相談ください。

■ 実施できない場合

政治、宗教、営利を目的とする集会などの場合は実施できません。

出前講座メニュー

テーマ	内 容	テーマ	内 容
今度はあなたがカモになるかも －悪質商法の対応講座－	悪質商法対策、クーリングオフ制度の活用	あなたの一票を生かすために	選挙の歴史や仕組みをわかりやすく解説 投票率の向上を目指しています
「光と水と緑に輝く南伊豆町」 －第5次南伊豆町総合計画－	町の未来に向かっての、まちづくり計画	町の台所事情	最近の国県の動向を踏まえた町の財政状況、将来展望
ゴミを減らしましょう	ゴミの減量方法や収集・処理	町は資産家だ？	町が所有する財産
みんなで支える介護保険制度 －介護保険講座－	介護保険制度の概要、申請、サービス利用	まず自らを守る	東海大地震、風水害対策、消防団や自主防災、災害に強い協働社会の実現
「銀の湯に入ろう」 －温泉入浴講座－	銀の湯会館の施設説明、温泉の入り方	教えて行政！（情報公開）	情報公開の手引き、情報公開制度の状況
暮らしの中の税	各種町税の課税の仕組み、納税	将来の環境を考えた下水道講座	下水道の概要、接続工事、接続費用
国民健康保険の豆知識	国民健康保険制度	認知症サポーター養成講座	認知症についての基礎知識、認知症の方や家族を支える手だて
住民係の窓口業務	住民係（戸籍等）窓口業務	安全安心なまちづくりを目指して 高齢化の状況と介護・福祉政策	町の少子高齢化の現状、課題、行政の取り組み
役場って何してるの？	役場の機構や仕組み、町民の生活との関わり、職員給与	公共工事の入札・契約のしくみ ～適正な工事発注～	公共事業の発注。模擬入札を行い、入札の様子や契約、事業完成までを体験
行政改革って何？	今なぜ行政改革か？ 協働社会の実現に向けた施策	TOUKAI（東海・倒壊）－0 事業について	TOUKAI－0事業の必要性、制度
役場は個人情報の塊だ！	個人情報保護条例、開かれたまちづくり、情報化への対応、プライバシー保護	鳥獣害どう防ぐ？	有害鳥獣についての知識や防除技術、町で取組んでいる対策
南伊豆町の観光について	観光スポット、各種イベント等の概要を紹介（ジオパーク等）		

問合せ 企画課 企画係 ☎ 6 2 - 6 2 8 8

2/28 観光客にも大好評！



地場産品販売の様子

第4回軽トラ市が役場駐車場で開催されました。会場では椎茸や苺などの地場産品の販売や、よさこいのグループ「翔華組」による華やかな踊りが披露され、多くの人で賑わっていました。

3/1 祝100歳!おめでとうございます!



100歳のお祝いを喜ぶ黒田さん

このほど100歳を迎えられた大瀬の黒田はまさんをお祝いに、町長が施設を訪問しました。「おめでとうございます」とお祝いの言葉を掛けられると、黒田さんは嬉しそうにうなずいていました。

3/7 茶道教室でお手前披露



緊張しながら茶をたてる児童

南上小学校5年生による茶道教室が、同校で行われました。下田市内で茶道教室を開いている加藤宗幸さんを講師に招き、茶のたて方や菓子の受け取り方を実践し、和の心を学びました。

3/1 待望のリニューアルオープン!



リニューアルオープン式典の様子

銀の湯会館で、リニューアルオープン記念式典が行われました。オープン当日は578人が利用され、新しくなった施設で日々の疲れを癒していました。

3/5～6 自分の目で確かめて



町内のマンションを見学する参加者

交流自治体杉並区の区民を対象とした「お試し移住現地見学会」が行われました。参加者たちは、町内のマンションや吉祥体験農園などを訪れ、田舎暮らしに思いを巡らせていました。

3/13 日頃の成果をお披露目



三味線の美音を披露する出演者

第21回南伊豆町芸能部門発表会が、役場湯けむりホールで行われました。文化協会加盟団体に南伊豆中学校を加えた計14団体が、日頃の練習の成果を披露し、観客を魅了していました。

今月のおすすめ

－新着図書案内－



「悪の力」 姜尚中著／集英社

現代人を苦しめる「悪」はどこから生まれるのか。心の奥底から湧き上がる「憎しみの感情」とどう向き合えばいいのか。



「天才」 石原慎太郎著／幻冬舎

反田中の急先鋒だった石原が、今なぜ「田中角栄」に惹かれるのか。幼少期のコンプレックス、政界入りのきっかけ、家族との軋轢…。



「娘になった妻、のぶ代へ」 砂川啓介著／双葉社

ドラえもんだった自分を忘れてしまった大山のぶ代と、妻の介護に徐々に追いつめられる砂川啓介。おしどり夫婦と呼ばれた日々は困難の連続だった。



「花冷えて」 あさのあつこ著／中央公論新社

夫と通じた女中の子堕ろしを頼みに来た女将の態度はいささか奇妙だった。闇医者への許に持ち込まれるのは、一筋縄ではゆかぬ事件ばかり。



「プロフェッション」 今野敏著／講談社

立て続けに発生した誘拐事件。解放された被害者は、皆「呪い」をかけられていた。科捜研から招集された警視庁きっての異能集団、始動！



「はだれ雪」 葉室麟著／KADOKAWA

謎の刃傷事件を起こした浅野内匠頭。彼がひそかに残した「最後の言葉」とは。言葉を聞いた勘解由の、秘めたる想いの行方は。



「百歳の力」 篠田桃紅著／集英社

100歳を過ぎた今も世界的に活躍する美術家・篠田桃紅。いつまでも“現役”かつ“第一線”で活躍し続けるには何が必要か？



「キッチン・ブルー」 遠藤彩見著／新潮社

偏食、孤食、料理ベタに味覚障害…このコンプレックスなんとかしたい！365日食に笑い、食に感ずすべての人へ。新食感ごはん小説。



「泣くのはあした」 大澤重人著／富山房インターナショナル

看護婦として日本の旧陸軍と中国の八路軍に従軍した一人の女性の波乱万丈の生涯。生死を分けかねない数々の苦難を強い精神力ではねのける。



「追いつめる親」 おおたとしまさ著／毎日新聞出版

生きてる実感がわかない。怒りがコントロールできない。そんな満たされない感覚は「あなたのため」という親から子への依存の闇を照らす。

- | | |
|------------------|-------------|
| 大世界史 | 池上彰・佐藤優 |
| 沈まぬアメリカ | 渡辺 靖 |
| 「イスラム国」よ | 鎌田 實 |
| 「専業主夫」になりたい男たち | 白河 桃子 |
| 世田谷一家殺人事件 | 一橋 文哉 |
| 拉致被害者を見殺しにした | |
| 安倍晋三と冷血な面々 | 蓮池 透 |
| 酔しようがでやせる！元気になる！ | 庄司いづみ |
| SNSって面白い？ | 草野 真一 |
| 農家が教える産地の | 農山漁村 |
| イチおし旬レシピ | 文化協会編 |
| もか吉、ボランティア犬になる。 | 江川 紹子 |
| 女子会川柳 | シティリビング編集部編 |
| バビロンの秘文字 | 堂場 瞬一 |
| 真実の10メートル手前 | 米澤 穂信 |
| ズッコケ熟年三人組 | 那須 正幹 |
| 御奉行の頭の火照り | 佐藤 雅美 |

図書館利用案内

利用者カードの交付

はじめて本を借りる時は登録者カード申込書に必要事項を記入し、免許証や保険証等、氏名や住所を証明するものを提示して下さい。その場でカードを交付します。

借りるとき・返すとき

本を借りるときは、借りたい本と利用者カードをカウンターへお持ちください。貸出期間は3週間、貸出冊数は制限がありません。返却本はカウンターへ置いてください。休館中・夜間の返却は玄関脇のブックポストをご利用ください。

予約・リクエストについて

貸出中の本を予約することができます。当館に無い場合はリクエスト用紙に記入し、カウンターへ出してください。できる限りご希望にお応えします。

健康レシピ

新キャベツのカレー酢和え



▷ 材料／2人分 ◁ (1人分エネルギー50kcal、塩分0.6g)

キャベツ……………80g	A	砂糖……………大さじ1と1/2
しめじ……………20g		酢……………大さじ2
コーン……………大さじ2		塩……………小さじ1/4
絹さや……………2枚		カレー粉……………小さじ1/4

▷ 作り方 ◁

- ①キャベツは、3cm角に切る。しめじは根元を切り、細かくほぐす。絹さやは筋を取り、斜めに切る。
- ②沸騰した湯に、キャベツとしめじを茹で、その後絹さやを入れて、さっとゆでる。ザルにとり、水気を切る。
- ③Aの調味料を合わせて②と和える。
- ④器に盛り、コーンをかける。

ここがポイント！



カレー粉を使うことで、ピリッとアクセントになります。

毎月19日は『食育の日』
～「いただきます」から始まる食卓～



なずみかい

南豆味会(健康づくり食生活推進協議会)
問合せ 健康福祉課 ☎62-6233



松原

みなみいず探索記

地域おこし協力隊



田中

2年間

ありがとうございました



隊員活動を終了いたしました



地域おこし協力隊として、南伊豆町に移り住み2年が経ちました。私田中は、3月をもちまして、隊員活動を終了いたしました。

任期中は、役場の担当課である企画調整課の皆さまをはじめ、各方面の方々に大変お世話になりました。この2年間は、南伊豆歩道の整備や、ツアー企画によるPRを主な活動としてきました。振り返ると、当初の意気込みとは裏腹に、力不足を実感するばかりでした。

地域おこし協力隊の役目は、日々の地域協力活動に加えて、任期後にオリジナルな形で定住をすること。これから南伊豆町へ移住を希望する人、特に私と同年代の小さなお子さんがいる家族に対して、わずかでも

そのモデルとなれるよう、この町に定着していきたいと思います。

まだまだ南伊豆暮らしが浅い私ですが、この町の素晴らしさは確信しています。のどかな風景にきれいな海があり、やりたいことを実現しやすい環境。このままで十分魅力的なところですよ。

そんな南伊豆の良さを少しでも多くの方にご案内できるように、これからも微力ながら取り組んでまいります。

そして、4月から地域おこし協力隊員が新たに1人加わります。協力隊の活動について、引き続き皆さまの温かいご支援・ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

隊員 田中

姉妹都市等宿泊費を助成します

姉妹都市長野県塩尻市および交流自治体東京都杉並区(以下、「姉妹都市等」という。)で宿泊すると、宿泊費の一部を町で助成します。

対象者

町内に住民登録を有し、町税等の滞納がない者

対象となる宿泊

姉妹都市等に立地するホテル、旅館、民宿等への宿泊で、下記に該当しないもの

- ・政治活動、宗教活動、仕事上の出張等に伴う宿泊
- ・この要綱以外の助成金、その他の宿泊料金の補助を受ける宿泊 等

対象となる宿泊費

宿泊施設が設定した宿泊プランの費用で、下記に該当しないもの

- ・宿泊した方が追加した料理、飲物、サービス等の費用
- ・宿泊プランに付与された金券等の費用 等

助成金額

宿泊費の1/2以内(上限1泊につき3,000円、一会計年度につき2泊まで)

※宿泊前に助成制度の要綱等を必ずご確認ください。助成金額は、提出していただいた申請書および領収書(原本)を審査して決定します。

問合せ 商工観光課 観光推進係 ☎62-6300

男のチャレンジクッキング参加者募集

料理経験が少ない男性でも簡単にできる「中華料理」を作ります。いつも女性に料理を任せているあなた。料理にチャレンジしてみませんか。

日時 5月18日(水) 9:30~12:30

場所 役場 調理室

対象者 55歳以上の料理経験が少ない男性 ※町民に限る

内容 簡単にできる男の中華料理

定員 10人(先着順)

参加料 300円

持ち物 エプロン、バンダナ、手拭きタオル、ふきん2枚、筆記用具

申込期限 5月6日(金)

申込み・問合せ

健康福祉課 地域包括支援センター

☎62-6233

エコプラザ(南伊豆郷土館1階)は、3月30日(水)をもちまして、運営を終了しました。ご利用ありがとうございました。

問合せ 生活環境課 生活環境係

☎62-6270

平成28年度農作業安全運動実施中

4月1日~5月31日までの2か月間、春の農作業安全運動が行われます。

農作業事故を未然防ぐために、下記のチェックポイントについて確認をしてください。

【チェック・ポイント】

- 1 安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用しましょう。
- 2 作業中はシートベルトを必ず着用しましょう
- 3 作業環境を確認し、危険性(傾斜・障害物等)に配慮しましょう
- 4 適正な機械使用を心がけましょう
- 5 電気柵設備の設置には、下記の点に十分注意しましょう

- ・危険表示板を見やすいところへ設置すること
- ・付属の電源装置を使用すること
- ・30V以上の電源装置を使用するときは、漏電遮断器を設置すること
- ・道路内やカードレール等の公共物への設置は不可

問合せ 地域整備課 農林水産振興係

☎62-6277

森林(もり)づくり県民税の延長

県は、荒廃した森林を再生し、山地災害の防止や水源かん養などの「森の力」を回復するため、県民の皆さまに森林(もり)づくり県民税をご負担いただき、平成18年度から森の力再生事業を実施してきましたが、この10年間に新たに荒廃が進行していることから、平成28年度以降も事業を継続することとし、森林(もり)づくり県民税の課税期間を5年間延長し、平成32年度までご負担をお願いすることになりました。

荒廃森林を再生し、森の恵みを次世代に継承するため、引き続き皆さまのご理解をお願いします。

問合せ 静岡県 税務課

☎054-221-2337

賀茂農林事務所

☎24-2082

「町民号で行く塩尻の旅」参加者募集

姉妹都市締結をしている長野県塩尻市を、町民号バスで訪問します。

毎回好評をいただいている塩尻ワイナリーフェスタや、今話題のNHK大河ドラマの舞台、上田も視察します。

皆さまお誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

日程 5月21日(土)~22日(日)

1泊2日

出発日時 5月21日(土) 5:00

集合場所 役場 駐車場

募集人員 40人 *先着順

負担金 12,000円

<お知らせ>

南伊豆町観光協会は、旅行業取得により旅行商品造成・企画販売をすることが可能になりました。バス旅行などお考えの際は、ご相談ください。

申込み・問合せ

(一社)南伊豆町観光協会

☎62-0141

メディカル通信

専門外来のご案内

「肛門外来」「乳腺外来」

■肛門外来の紹介

痔は痛みを伴うもの、出血するもの、飛びだしてくるものなど症状も色々で、その程度もさまざまです。

放っておいても自然に治る痔もあれば手術が必要な痔もあります。多くは薬で楽になります。痔でお悩みの方は恥ずかしがらず、一度ご来院ください。

外来診療日 毎週火曜日の午後
※予約制

■乳腺外来の紹介

乳房のしこりなどの症状をお持ち



ちの方の診察のほか、乳がん1次検診にて要精査と判定された方の2次検査、市町村検診の対象外である40歳未満で乳がんスクリーニングを希望される方の検査などを行っています。乳がん1次検診については金曜午前の外来でも予約可能です。

外来診療日 毎週金曜日の午後
※予約制

気になる症状がある方はお気軽にお問合わせください。

問 下田メディカルセンター
☎ 25-2525

交流自治体 だより

東京都杉並区



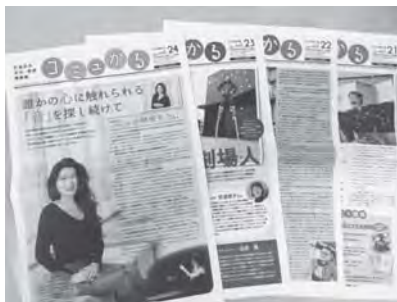
交流自治体「とっておき」情報紙

杉並区交流自治体には魅力的な情報がたくさんあるにもかかわらず、残念ながら区民の認知度が高いとは言えません。

杉並区では、平成28年度から、交流自治体の情報紙を6月と10月に発行します。掲載する情報は、一般の観光ガイドブックには載っていない交流自治体の隠れた観光スポットやB級グルメ、一押しの宿などの「とっておき」の情報です。魅力を発信することにより、地域を「知って・訪れて・好きになる」きっかけとなる情報紙を計画しています。

南伊豆町・海・山・食などのさ

まざまな魅力を55万人の杉並区民にお届けします。あなただけが知っている「とっておき」の情報がありましたら、役場商工観光課までお知らせください。



問 杉並区 区民生活部 文化・交流課
☎ 03-3312-2111

戸籍の窓

赤ちゃん誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
一條	高橋 蓮生	1.26	諒・愛梨紗
湊	渡邊 心結	2.1	貴雅・真理子
青市	土屋 陽菜	2.13	健作・琴乃
市之瀬	鈴木 大心	2.16	邦広・愛
吉祥	黒田 晴利	2.16	利章・美沙

お悔やみ申し上げます

	氏名	年齢	月日
吉田	仲尾ヤエ子	86	2.4
湊	横田實枝子	84	2.5
石井	鈴木信義	82	2.7
子浦	肥田幸子	84	2.9
手石	土屋公子	76	2.10
加納	山田里子	101	2.13
湊	楠千代吉	70	2.15
大瀬	渡邊ふで子	92	2.15
中木	山本ヤエコ	88	2.15
妻良	大川ちゑ子	89	2.16
下賀茂	増田吉松	88	2.16
手石	鈴木静子	81	2.22
石廊崎	鈴木俊子	95	2.28
妻良	村田清次	86	2.28

平成28年2月1日から2月29日までに届出のあったもの(敬称略)

※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時に申し出ください。

人の動き

(3月1日現在)

世帯数 3,955世帯

人口 8,760人(−11)

男 4,192人 女 4,568人

----- (2月中) -----

転入 15 転出 15

出生 5 死亡 16

4月、固定資産税、国民年金保険料の納付月です。

納期限内に忘れずに納めましょう。

税金・料金の納付は便利な口座振替で。お申込みは、各金融機関窓口まで。

※住民基本台帳法の改正(平成24年7月9日)により、外国人も含んでいます。



まちの人

安全をつなげて広げて
事故ゼロへ

南伊豆町交通指導員会長
高野 洋さん

南伊豆町交通指導員会は、5名と少数精鋭で活動しており、町内の通学路における交通事故を撲滅するため、通学時間帯に街頭指導を行っています。

また、小・中学校の依頼による交通安全教室への参加、町や各地区の行事等に参加し、地域に密着した活動を通じ、交通安全意識向上を図っています。

4月6日～15日まで春の全国交通安全運動が実施されます。今年度は、町内における交通死亡事故0を目指し、指導員一同事故防止に取り組んでまい

りたいと思っています。

また、通学路で街頭指導をしていると、子どもたちの明るく元気のよい挨拶が一番の励みとなります。私たち指導員も積極的に子どもたちに声をかけるよう心がけ、信頼関係を深め、交通安全活動に尽力していきたいと思っています。

最後に私たちと一緒に活動していただける人がおりましたらぜひ、町総務課へご連絡ください。

健康一口メモ

胃がん・肺がん検診受診で
早期発見を！



現在、日本人の2人に1人ががんになると言われています。がんは自覚症状がないまま進行していきますので、気づいた時には手遅れ…ということも少なくありません。

定期的に検診を受診することが非常に重要になってきます。早期発見ができれば、完治する確率は90%以上にもなります。

年に1度は胃がん・肺がん検診を受けましょう。

※町では、4月3日～28日まで各地区において胃がん・肺がん検診を実施しています。今年度から国の指針に基づき、対象年齢の見直しを行いました。また、負担金も変更しましたので、詳細については健康福祉課健康増進係までお問い合わせください。

問合せ 健康福祉課 ☎62-6233

スマイルキッズ



ほのか
入間 外岡 歩乃佳 ちゃん（1歳6か月）

「電話とおしゃべりがだいすき！
スマホを持って、いつもお話してます♪」

広報みなみいず 4月号

発行日／平成28年4月1日

発行／南伊豆町 編集／企画課 印刷／㈱栄協

〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1

TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119

ホームページ

<http://www.town.minamiizu.shizuoka.jp/>

編集後記

卒業・入学、就職・退職など、多くの方が人生の節目を迎えられたことと思います。4月からは心機一転！気持ちを新たに頑張っていきましょう！



広報みなみいずは、再生紙を利用しています。